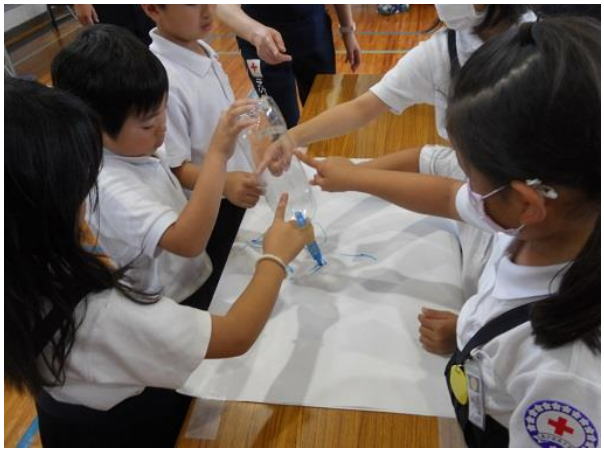
植田っ子

令和５年度
学校便り NO.４　７月号
高松市立植田小学校
令和５年６月３０日発行

６月２４日（土）防災セミナー。
協力することの大切さを体験しました。



防災セミナーでは、参加者が力を合わせて、丸やハートの図を描く活動を行いました。自分が伝えたいことをしっかりと伝えたり、友だちの言うことをしっかりと聞いたりしながら、誰とでも協力することの大切さを学びました。

自助・共助・公助

災害が発生したときに、自分自身の身の安全を守ることを「自助」と言います。自分自身とは家族も含めます。地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うことを「共助」と言います。市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助が「公助」です。災害時、この「自助」、「共助」、「公助」が連携することがとても大切になります。

ただ、「自助」、「共助」、「公助」のうち、私たちができるのは「自助」と「共助」ということになります。一人ひとりが「自分の身は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えをもち、日ごろから災害に備えておくことが大切です。

災害が起こったときのために、持ち出すものを準備しておいたり、揺れ防止対策を行ったり、避難する場合はここへ逃げるということを家族で話し合ったりしておくと、いざという時にも落ち着いて行動することができると思います。

植田校区コミュニティ協議会では、植田校区防災マップを令和５年３月に作成しています。植田小学校でもこのマップを参考にして、避難経路の再考など、今後の避難訓練に役立てていこうと考えています。